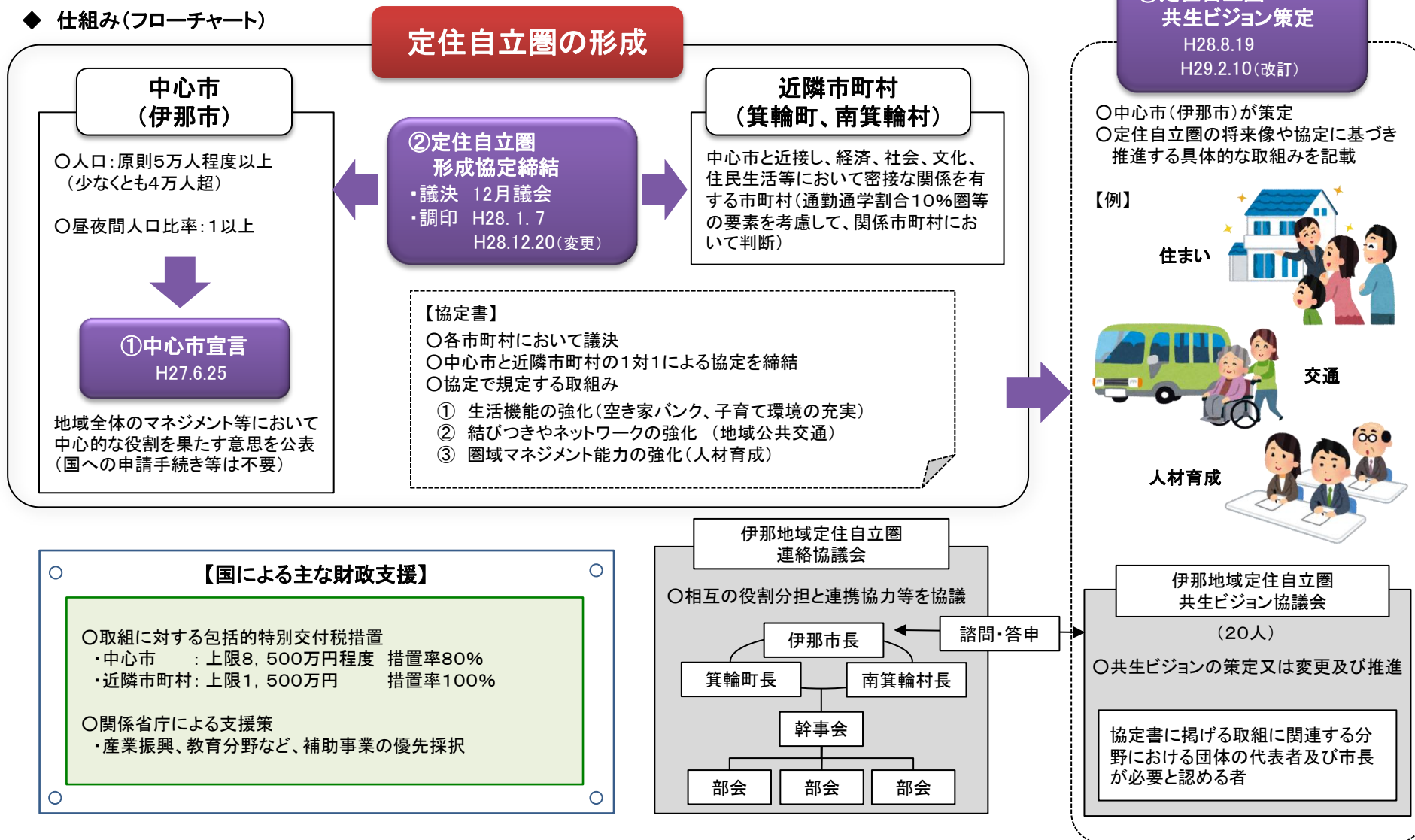


伊那地域定住自立圏構想について

◆ 目的

地方圏への人口定着を促進するため、中心市と近隣市町村の農林水産業、自然環境、歴史・文化など、それぞれの魅力を活用しつつ、相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体で必要な生活機能を確保し、定住の受け皿を形成する。

◆ 仕組み(フローチャート)



③定住自立圏
共生ビジョン策定

H28.8.19
H29.2.10(改訂)

- 中心市(伊那市)が策定
- 定住自立圏の将来像や協定に基づき
推進する具体的な取組みを記載

【例】

住まい


交通


人材育成


【国による主な財政支援】

- 取組に対する包括的特別交付税措置
 - ・中心市 : 上限8,500万円程度 措置率80%
 - ・近隣市町村: 上限1,500万円 措置率100%
- 関係省庁による支援策
 - ・産業振興、教育分野など、補助事業の優先採択

伊那地域定住自立圏 連絡協議会

○相互の役割分担と連携協力等を協議

伊那市長

← 諮問・答申

箕輪町長

南箕輪村長

幹事会

部会

部会

部会

伊那地域定住自立圏 共生ビジョン協議会

(20人)

○共生ビジョンの策定又は変更及び推進

協定書に掲げる取組に関連する分
野における団体の代表者及び市長
が必要と認める者